

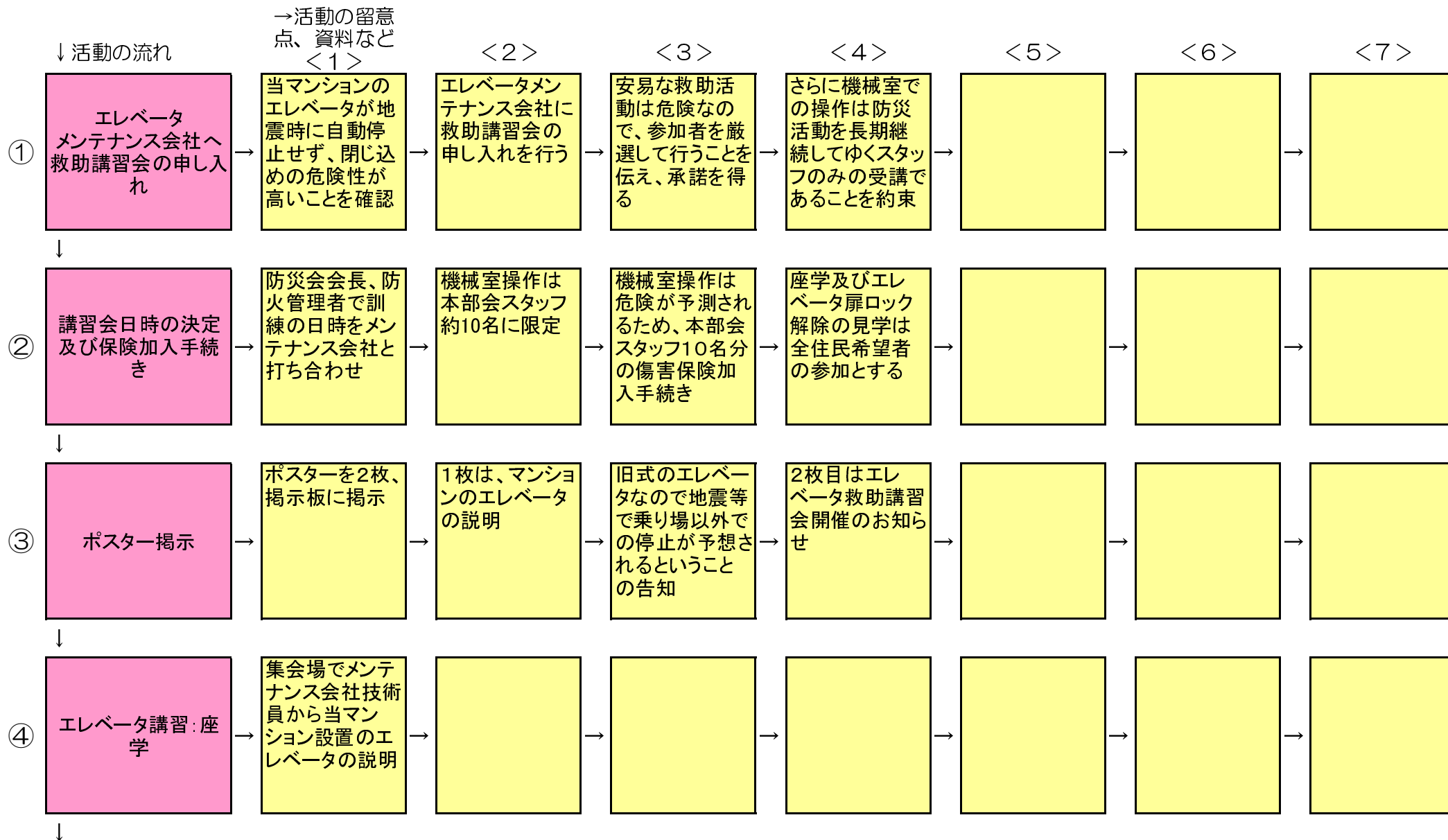
# 活動指導案

実践団体名 **サザンヒルズ学園前防災会**

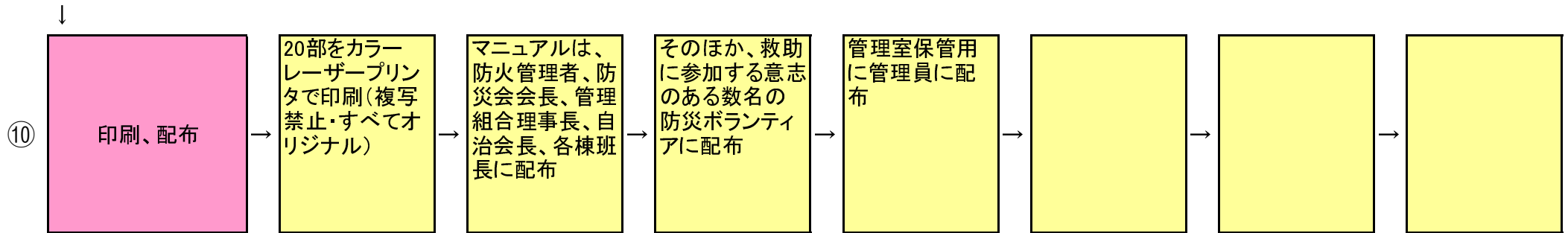
## ■基礎データ

① タイトル	エレベータ(閉じ込め事故)救助講習会
② 活動の概要	マンション防災会有志でエレベータ閉じ込め事故発生の場合の救助訓練
③ 目標・ねらい	災害時のエレベータ停止時に救助可能な知識と経験を得る・手順マニュアルの作成
④ 活動で上げることが できる力・能力	マンションの防災力と信頼
⑤ 対象者(受ける側)	マンション居住者
⑥ 活動・作業形態	棟内エレベータ
⑦ 準備するもの (道具、材料等)	機械室常備のエレベータ扉ロック解除キー・デジタルカメラ・筆記具
⑧ 所要時間	約2時間(座学・訓練)
⑨ 必要なマンパワー (実施者、役割、人数)	エレベータメンテナンス会社作業員・防災会有志(最少人数として、機械室2名・エレベータ扉前2名・連絡係2名)
⑩ 必要経費 (所要額、財源)	無料

## ■活動の流れ







## ■活動の評価方法

### ①数や量の変化による評価

一般住民の参加者の増加

### ②その他の評価

## ■備考・その他（活動のコツなど）

### ①活動のコツなど

- ①協力してもらえエレベータメンテナンス会社との良好な関係
- ②「人間はミスをする」ということを前提にした慎重な救助プログラム
- ③マニュアル製作にあたっては、さまざまな状況をシミュレーションする想像力と根気(個人の能力に依るところが大きい)
- ④チェックする全員の協力態勢

### ②参考資料等

- ①写真 ②講習会ポスター ③配布資料 ④マニュアル(部分)  
 ※マニュアルは複写禁止、持ち出し禁止になっているため、数ページのみを添付

※ 活動指導案作成のための準備物 : ①写真(活動の代表的な写真、流れがわかる写真等)、②参加者への配付資料、③実施者向けマニュアル・資料 等

# 活動指導案

実践団体名 サザンヒルズ学園前防災会

## ■基礎データ

① タイトル

レスキュー名簿作成

② 活動の概要

災害弱者の状況把握

③ 目標・ねらい

迅速な避難救助体制作り

④ 活動で上げることが  
できる力・能力

信頼関係、緊急支援体制への一歩

⑤ 対象者（受ける側）

5歳未満の乳幼児、60歳以上の方、障がい者

⑥ 活動・作業形態

アンケートから名簿を作成、保管

⑦ 準備するもの  
（道具、材料等）

ファイル

⑧ 所要時間

アンケート配布後、回収まで約3週間。回収後集計に3～5日程度

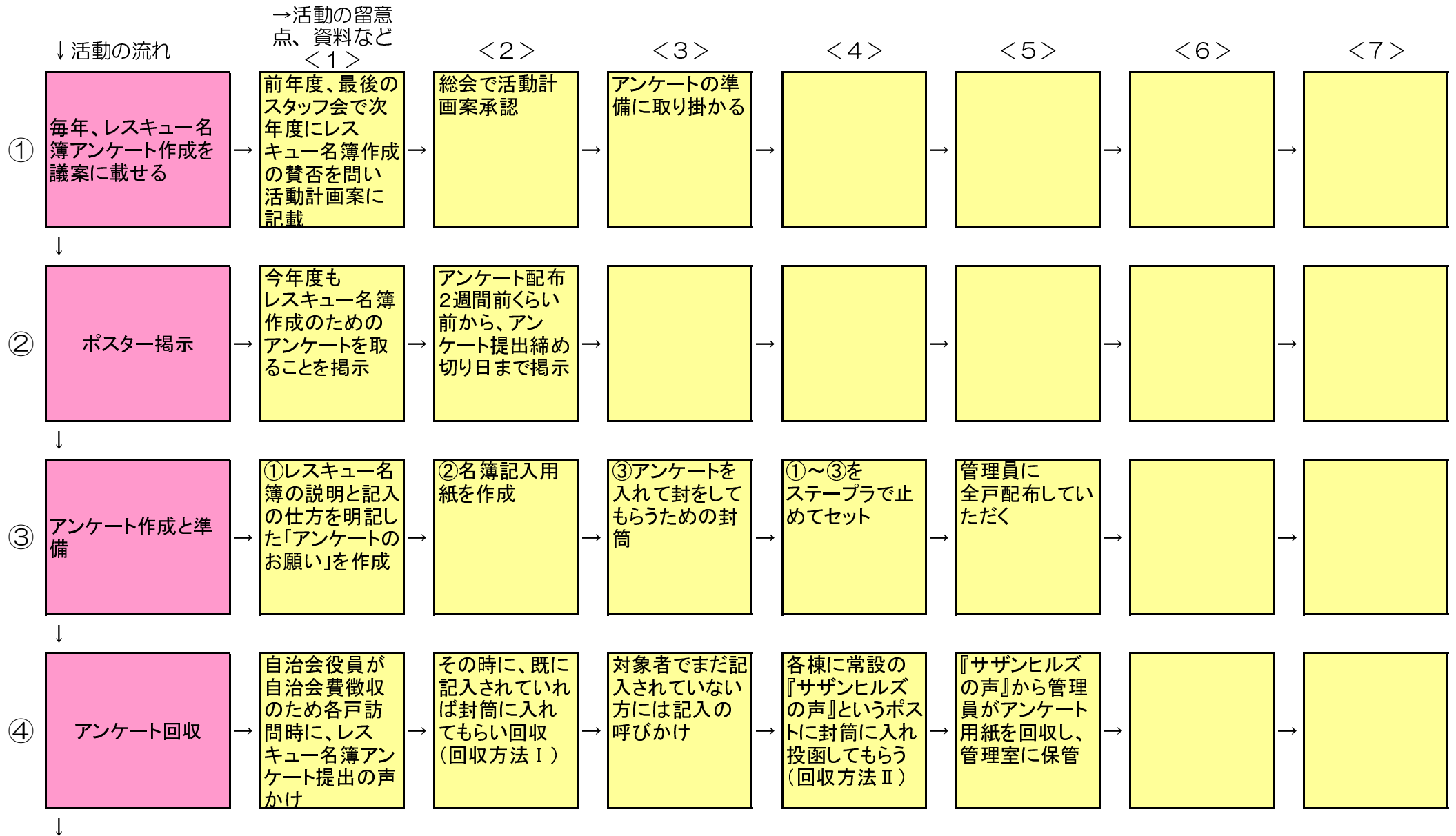
⑨ 必要なマンパワー  
（実施者、役割、人数）

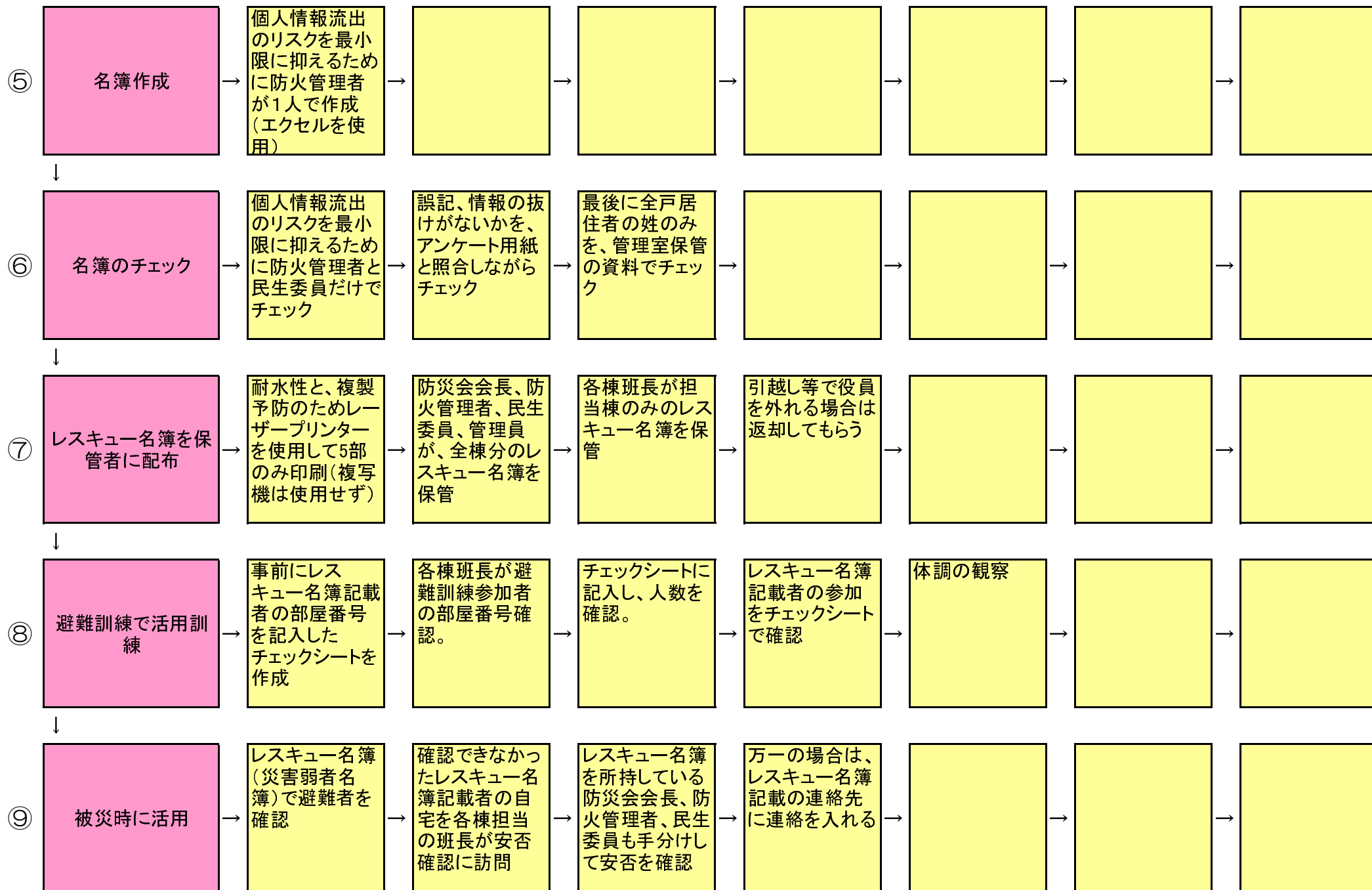
防火管理者1人でポスター掲示から名簿作成まで  
保管：防災会会長・民生委員・3棟の各担当班長（担当番館のみ）・管理人・防火管理者

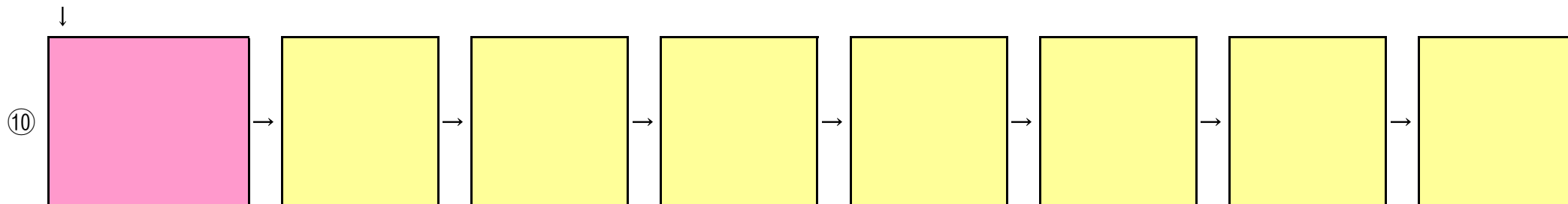
⑩ 必要経費  
（所要額、財源）

コピー代・ファイル代を管理組合費より支出

## ■活動の流れ







## ■活動の評価方法

### ①数や量の変化による評価

アンケート提出者の増加

### ②その他の評価

## ■備考・その他（活動のコツなど）

### ①活動のコツなど

①回収に使用する封筒をアンケート用紙とともに全戸に配布したり、アンケートの説明文で、名簿保管者を限定している等、個人情報保護のために努力していることを住民にアピール

②レスキュー名簿は、各棟の部屋配置図に情報を記入することによって、直感的に認知できるよう配慮

### ②参考資料等

①レスキュー名簿(個人情報欄空白) ②アンケートセット(説明文・アンケート用紙・封筒)

※ 活動指導案作成のための準備物 : ①写真(活動の代表的な写真、流れがわかる写真等)、②参加者への配付資料、③実施者向けマニュアル・資料 等

# 活動指導案

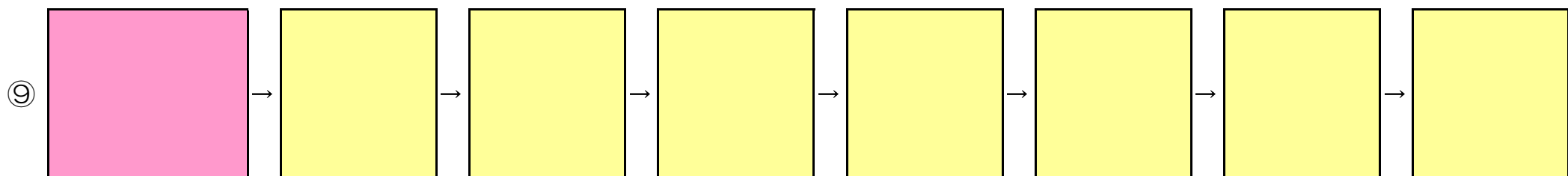
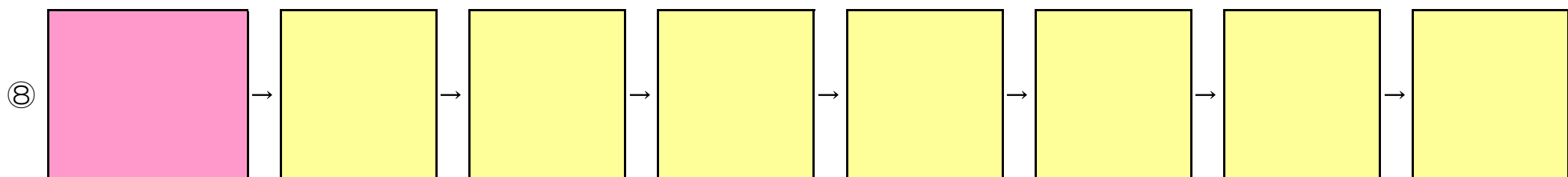
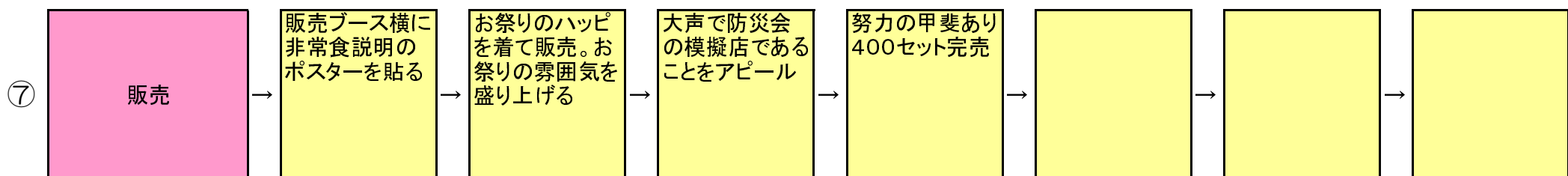
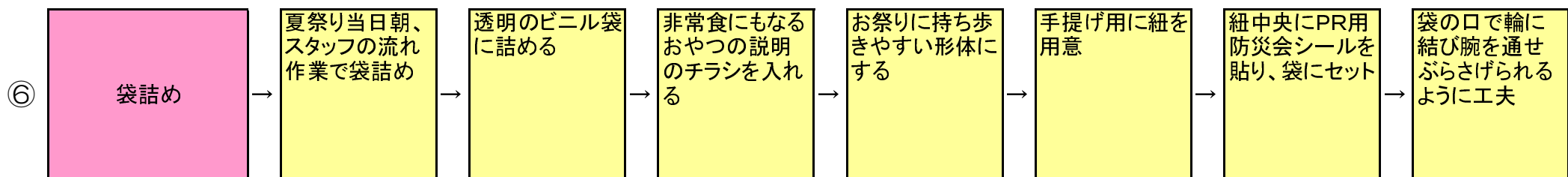
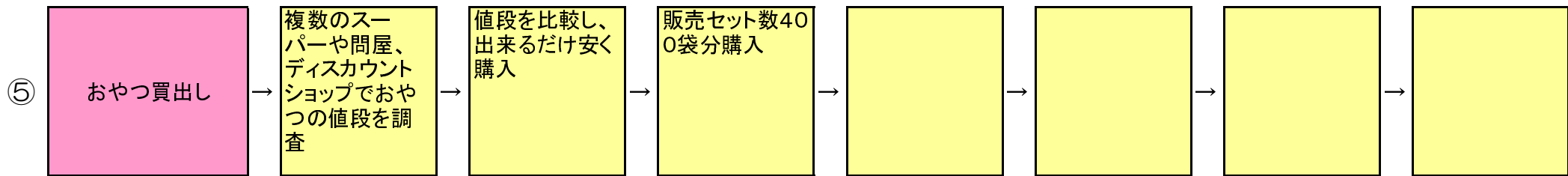
実践団体名 **サザンヒルズ学園前防災会**

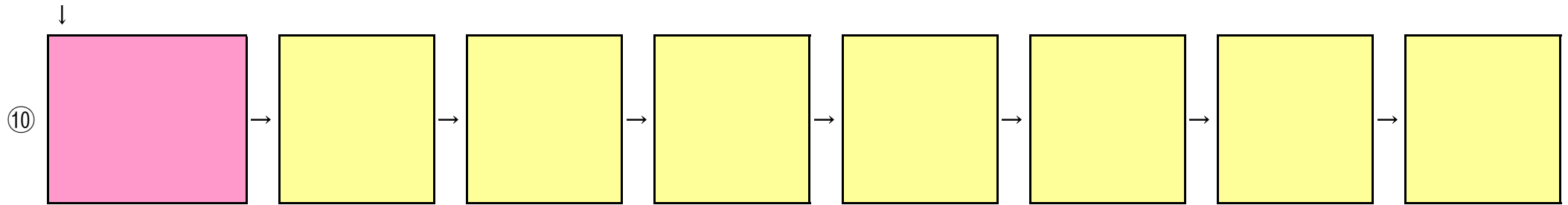
## ■基礎データ

① タイトル	非常食おやつの販売
② 活動の概要	非常食おやつ販売
③ 目標・ねらい	防災会のPR。非常食に関心を持ってもらう
④ 活動で上げることが できる力・能力	居住者とのコミュニケーション
⑤ 対象者（受ける側）	お祭参加者
⑥ 活動・作業形態	
⑦ 準備するもの （道具、材料等）	非常食代わりになるおやつ。テーブル。金券入れ。のぼり。ポスター。
⑧ 所要時間	準備期間：約1カ月 販売：2時間
⑨ 必要なマンパワー （実施者、役割、人数）	買出し・袋詰め・販売
⑩ 必要経費 （所要額、財源）	管理組合防災費

## ■活動の流れ







## ■活動の評価方法

### ①数や量の変化による評価

用意した400セット完売、防災会の認知度向上

### ②その他の評価

## ■備考・その他（活動のコツなど）

### ①活動のコツなど

- ①自分たちが楽しむ。
- ②無理はしない。
- ③防災を前面に出し過ぎず、身近に感じてもらえる工夫
- ④大人だけでなく、子どもにも関心を持ってもらえる工夫

### ②参考資料等

写真

※ 活動指導案作成のための準備物 : ①写真(活動の代表的な写真、流れがわかる写真等)、②参加者への配付資料、③実施者向けマニュアル・資料 等

# 指導案

実践団体名 サザンヒルズ学園前防災会

## 礎データ

① タイトル

防災訓練(てんぷら油火災消火実験付き)

② 活動の概要

毎年行っている避難訓練を実施すると同時に、消防署員立ち合いの上で、防災会スタッフがてんぷら油火災を実演。引火する瞬間を見てもらい、さらに粉末消火器・強化液消火器・エアゾール消火器等で消火を行い、消火器使用の注意点を実験を通して認知してもらう。

③ 目標・ねらい

防災会スタッフ各係の被災時における行動の確認、てんぷら油温度上昇による引火の確認および各種消火器による消火状況の確認

④ 活動で上げることが  
できる力・能力

各係の防災行動力・各家庭のてんぷら油火災への対応力(消火力)

⑤ 対象者(受ける側)

マンション居住者

⑥ 活動・作業形態

全住民対象の避難訓練と、火災発生および消火方法の実演(実験)  
①実験機材の設営 ②避難訓練 ③消火器訓練 ④てんぷら油火災消火実験 ⑤後片付け

⑦ 準備するもの  
(道具、材料等)

フライパン+ガスコンロ+プロパンガス(ボンベ)を2セット、テーブル2台。粉末消火器、強化液消火器、エアゾール消火具、ライター等

⑧ 所要時間

避難訓練1時間(消防署員による消火器講習を含む)・てんぷら油火災消火実験30分・後片付け30分

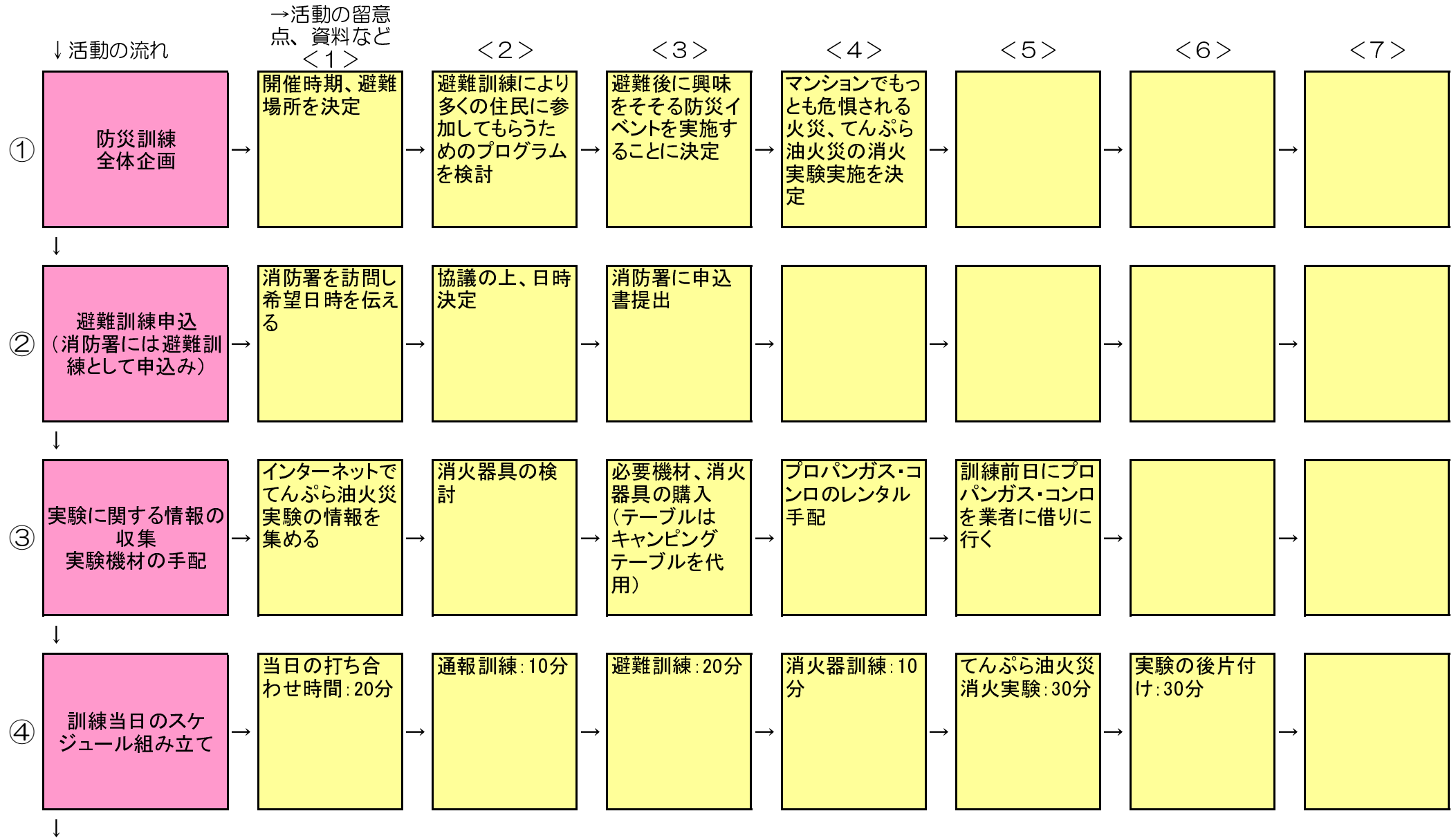
⑨ 必要なマンパワー  
(実施者、役割、人数)

避難訓練:防災会スタッフ30数名  
てんぷら油火災実験:設営スタッフ6名、実演スタッフ1名、実演アシスタント1名、器具手配3名

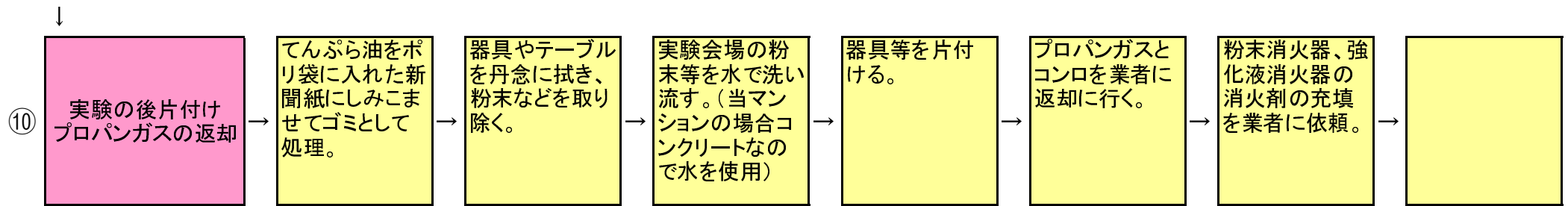
⑩ 必要経費  
(所要額、財源)

実験経費:約3.5万円 消火器具・材料等購入:2万円 プロパンガス・コンロ:5千円 保険:1万円  
財源:防災費用(管理組合費より)

# 動の流れ







## の評価方法

### ①数や量の変化による評価

訓練参加者の増加

### ②その他の評価

## (活動のコツなど)

### ①活動のコツなど

- ①危険回避のための、インターネット等による、てんぷら油火災(消火実験)に関する詳細な情報の収集
- ②火災の実演は危険性を伴うので、危険因子を洗い出し、緻密に計画し、実行する時も無茶はしないように心掛ける
- ③注意点として、強化液消火器は液に臭いがわるため、テーブルの素材は液が浸透しないものがよい

### ②参考資料等

- ①防災訓練告知ポスターおよびチラシ ②防災訓練ワークフロー

※ 活動指導案作成のための準備物 : ①写真(活動の代表的な写真、流れがわかる写真等)、②参加者への配付資料、③実施者向けマニュアル・資料 等

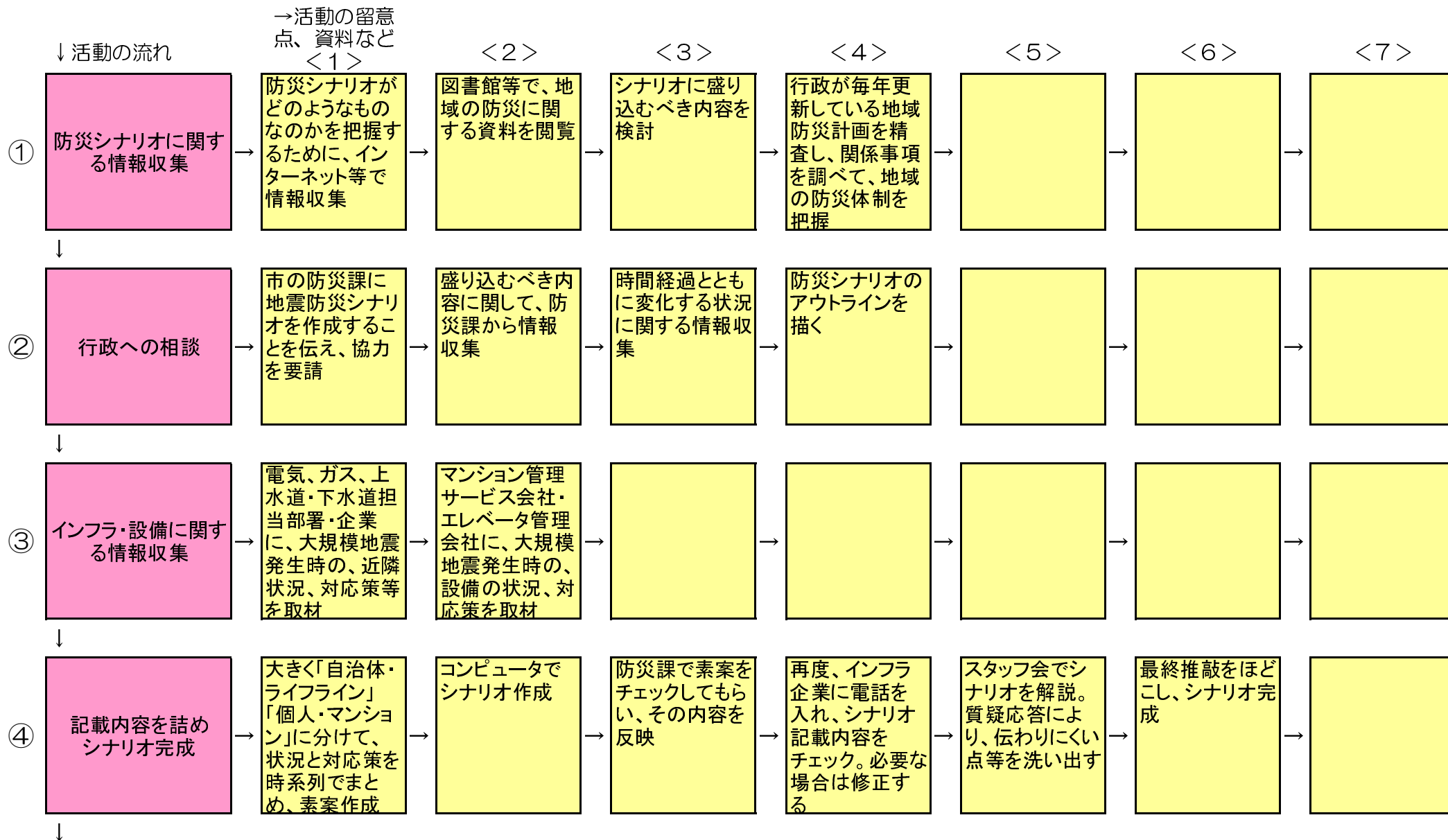
# 活動指導案

実践団体名 **サザンヒルズ学園前防災会**

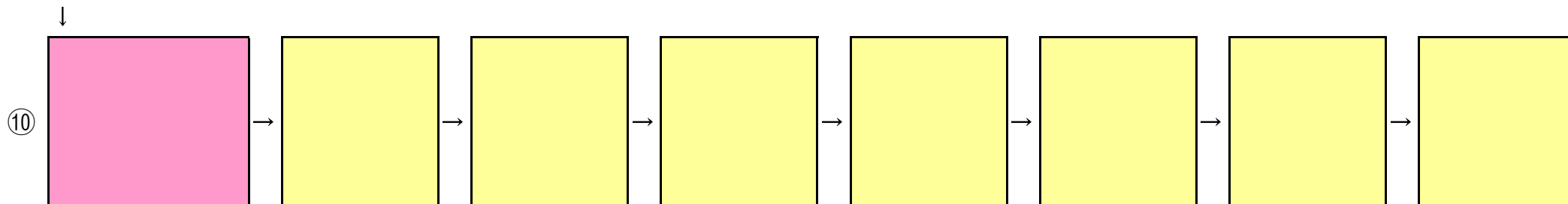
## ■基礎データ

① タイトル	地震災害シナリオの作成
② 活動の概要	震度6の地震が起こった場合、当マンションがどうなるのか、インフラはどうなるのか等を検証し、時系列に状況と対策を列記した「地震災害シナリオ」を作成。講習会を開催して住民に説明し、全戸に配布
③ 目標・ねらい	直下型地震に対する防災力の形成、自助・共助の意識形成
④ 活動で上げることが できる力・能力	地震発生時の初期対応力
⑤ 対象者（受ける側）	マンション居住者
⑥ 活動・作業形態	地震災害シナリオ作成は、パソコンソフト（イラストレーターを使用）で作成しながら、市の防災課員等と内容を検討 防災講習会は、2部構成。防災課員の防災講話と、防災会会長によるシナリオ解説
⑦ 準備するもの （道具、材料等）	配布用地震災害シナリオ（A3）1枚
⑧ 所要時間	防災講習会のみ2時間
⑨ 必要なマンパワー （実施者、役割、人数）	当マンションの場合、作成は1名が担当 防災講習会は、会場設営・片付け4名、受付3名
⑩ 必要経費 （所要額、財源）	特になし

## ■活動の流れ







## ■活動の評価方法

### ①数や量の変化による評価

講習会への参加者数

### ②その他の評価

## ■備考・その他（活動のコツなど）

### ①活動のコツなど

①熱意と、根気と、想像力。

②パソコン活用力(できればエクセルではなくレイアウトの自由度が高いイラストレーターを使った方がよい)

### ②参考資料等

①サザンヒルズ学園前・地震災害シナリオ ②シナリオ解説 ③防災講習会告知ポスター・チラシ

※ 活動指導案作成のための準備物 : ①写真(活動の代表的な写真、流れがわかる写真等)、②参加者への配付資料、③実施者向けマニュアル・資料 等